

科学技術イノベーション総合戦略2015における 重点化対象施策について【概要】

平成27年9月18日

内閣府政策統括官

(科学技術・イノベーション担当)

科学技術イノベーション総合戦略2015における重点化対象施策

- 政府全体の科学技術関係予算の編成において、総合科学技術・イノベーション会議が司令塔機能を発揮し、関係府省の施策の主導、資源の重点的な配分を行うため、科学技術イノベーション総合戦略に基づき、「重点化対象施策」を特定。
- 内閣府は、総合戦略が政府の予算に実効的に反映されるよう、財政当局等との連携を図る。
- 取りまとめ過程で得た検討課題などの知見については、第5期科学技術基本計画等の検討に繋げる。

■ 科学技術イノベーション総合戦略

- 科学技術基本計画の中長期の方針の下、各年度に重点的に取り組むべき項目を明確化
- 第2次安倍政権発足以来、成長戦略の一環として毎年策定し、閣議決定
- 「科学技術イノベーション総合戦略2015」は、本年6月に閣議決定

重点化対象施策の取りまとめプロセス

平成27年6月

【計画】

科学技術イノベーション総合戦略2015（6月19日閣議決定）

7月～8月



各省施策のヒアリング及び調整

【実行】

概算要求に先立ち、全ての関係府省を集めて、有識者議員等によるヒアリング

- ・ 課題毎に各省の全体的な取組方針を共有・議論
- ・ 各府省施策の連携アドバイス
- ・ 重複排除・事業間の調整・役割分担の明確化

2部2章



SIP含め研究開発を組み合わせ（システム化）、産業競争力を生み出す価値の連鎖（バリューチェーン）を形成



9月



各府省概算要求

平成28年度科学技術関係予算、制度等における**重点化対象施策の特定**

- ① 大変革時代における未来の産業創造・社会変革に向けた挑戦
- ② 「地方創生」に資する科学技術イノベーションの推進
- ③ 2020年オリンピック・パラリンピック競技大会の機会を活用した科学技術イノベーションの推進
- ④ イノベーションの連鎖を生み出す環境の整備
- ⑤ 経済・社会的課題の解決に向けた重要な取組

5つの政策分野の重点化対象施策について

第5期科学技術基本計画の始動に向けた 3つの政策分野

大変革時代における未来の産業創造・社会変革に向けた挑戦
未来に向けて果敢に挑戦する人材及び「超スマート社会」の実現に向けた技術開発への先行投資。

- ① チャレンジングな研究開発への投資と人材強化
- ② 事業のシステム化に係る先導プロジェクトの実施
- ③ 共通基盤技術や人材の強化

重点化対象施策数：5施策 概算要求額：71.2億円

「地方創生」に資する科学技術イノベーションの推進

地域が主体となるための取組を進めるべく、地域の実情等を関係府省が共有し関連施策を総動員。

- ① 地域の特性に即したイノベーション推進による新産業・新事業の創出
- ② 中核企業等の支援による地域経済・産業の活性化
- ③ 地域のイノベーション人材の育成と活用による地方創生の推進

重点化対象施策数：9施策 概算要求額：129.6億円

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会 の機会を活用した科学技術イノベーションの推進 プロジェクト毎に民間の発意を盛り込んだ事業計画を作成

① スマートホスピタリティ



④ 次世代都市交通システム



⑤ 水素エネルギーシステム



等

重点化対象施策数：1施策 概算要求額：-

科学技術イノベーションの創出に向けた 2つの政策分野

イノベーションの連鎖を生み出す環境の整備

我が国のイノベーションシステムの最適化に向け、特に重点を置く課題毎に指標群を定め、施策群全体を一体的に推進。

- ① 若手・女性の挑戦の機会の拡大
指標：若手研究者への研究費、管理職に占める女性割合 等
- ② 大学改革と研究資金改革の一体的推進
指標：世界大学ランキング、競争的資金の金額の増減割合 等
- ③ 学術研究・基礎研究の推進
指標：論文数、学際的・分野融合的な領域への参画 等
- ④ 研究開発法人の機能強化：
指標：機関間の人材流動化、研究開発成果の創出及び実用化の状況 等
- ⑤ 中小・中堅・ベンチャー企業の挑戦の機会の拡大：
指標：ベンチャー企業等への投資額、中小企業からの新製品創出状況 等

重点化対象施策数：38施策 概算要求額：1,249.3億円

経済・社会的課題の解決に向けた重要な取組
あるべき経済・社会システムを構想し、研究開発を組み合わせ（システム化）、産業競争力を生み出す価値の連鎖（バリューチェーン）を11個形成。

- ① クリーンで経済的なエネルギーシステムの実現
● エネルギーバリューチェーン、
● 地球環境情報プラットフォーム
- ② 国際社会の先駆けとなる健康長寿社会の実現
- ③ 世界に先駆けた次世代インフラの構築
● インフラ維持管理・更新、● 自然災害に対する強靱な社会
- ④ 我が国の強みを活かしIoT、ビッグデータ等を駆使した新産業の育成
● 高度道路交通システム、● 新たなものづくりシステム、
● 統合型材料開発システム、● 地域包括ケア、● おもてなしシステム
- ⑤ 農林水産業の成長産業化
● スマート・フードチェーンシステム、● スマート生産システム

重点化対象施策数：158施策 概算要求額：3,598億円

重点化対象施策数：211施策

概算要求総額：5,048億円

「超スマート社会」の実現に向けた共通基盤技術の開発

未来の産業創造・社会変革に必要な、世界に先駆けた「超スマート社会」の実現に向けて共通基盤技術の開発を強化する。特に、システムの価値創造の主要技術であり、国際競争が激化している人工知能技術をCSTIがリーダーシップを発揮し推進する。

超スマート社会

必要なもの・こと（サービス）を、「必要な人に、必要な時に、必要なだけ提供」でき、社会の様々なニーズにきめ細やかに、かつ効率的に対応



人工知能に関する重点化対象施策の例

【総務省：多様なIoTサービスを創出する共通基盤技術の確立・実証(11億円)】

膨大な数のIoT機器を迅速・効率的に接続する人工知能等を活用した革新的ネットワーク技術等の基盤技術を確立。

【経産省：CPSによるデータ駆動型社会の実現(67.9億円)】

省エネルギーで高度なデータ利活用を可能とする次世代技術を、産学官連携で開発。「人工知能研究センター」において、基礎研究から人工知能技術の実用化と実世界への応用・橋渡しを推進。

【文科省：人工知能/ビッグデータ/IoT/サイバーセキュリティ統合プロジェクト(100億円)】

人工知能技術を中核とし、世界最先端の人材が集まる研究開発拠点を構築。また、独創的な研究者を支援。